

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

弘前

段級

對馬

聖峰



辟卿士
相超動

推奨筆(花林)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



原帖



〔辟卿士相趨動〕〔百〕辟卿士、相い趨きて〔色を〕動かす。

〔動〕 〔趨〕 〔相〕 〔士〕 〔卿〕 〔辟〕

偏は口の大きさに配慮し、上下に広い余白をとる。旁の横画は鋭利でシャープな線で、微妙な方向の違いを見逃さない。最終画は充実した太線になる。

3つの部分をバランスよくまとめる。骨法△印の入筆は角度をしっかりとつけ、※印の折れは筆を立てて鋭く。

前字との字間に注意し、どっしりとした太線で小さく書く。横画の長短と方向に留意。

偏はスマートな縦長になり、余白をほぼ均等にする。目の横の間隔と接筆に気を配り、上下はしっかりと空ける。

走の横画の長さに変化をつけ、長い右はらひは三折法で、終筆は緊張感のあるはらいでのびやかに。多は方向と長短に留意し、大きくしすぎない。

重は横画の長さに気を配り、間隔はほぼ均等に、右側を一線に揃える。力の上部を広く空け、1画目の折れてからは反り気味に、終筆は鋭くはねる。

※出品段級位（漢字半紙部 新級～正師範）

※弘前の部分には支部名を書く

弘前
段級
對馬
聖峰

客
日
月
星
稀



推奨筆（花林）・推奨紙（無野半紙・桐）・推奨墨（玉品）

行書臨書課題解説

蘇軾

前赤壁賦

原帖



〔客〕 〔日〕 〔月〕 〔明〕 〔星〕 〔稀〕

概形は逆台形になり、中心に気をつけて重めの線で書き出す。各は小さめに、重心を右に移動させる。

「日く」なので横広を意識して小さくまとめる。骨法△印の入筆は鋒先を出す露鋒で、左右の縦の部分は向勢に。

1画目は露鋒で入筆し、徐々に重く下部はどしりと。2画目の縦の部分は下側を広くとり安定させ、終筆は鋒先がまとまってから筆の腹ごとじっくりはねる。

偏は筆圧をかけて渋筆で、下部に広い余白をとる。旁は前字と同形だが、中の部分を明るく軽快に運筆する。

小さめにまとめる。左への動きを僅かに出すが、右はやや抑え、横画の方向を変化させる。

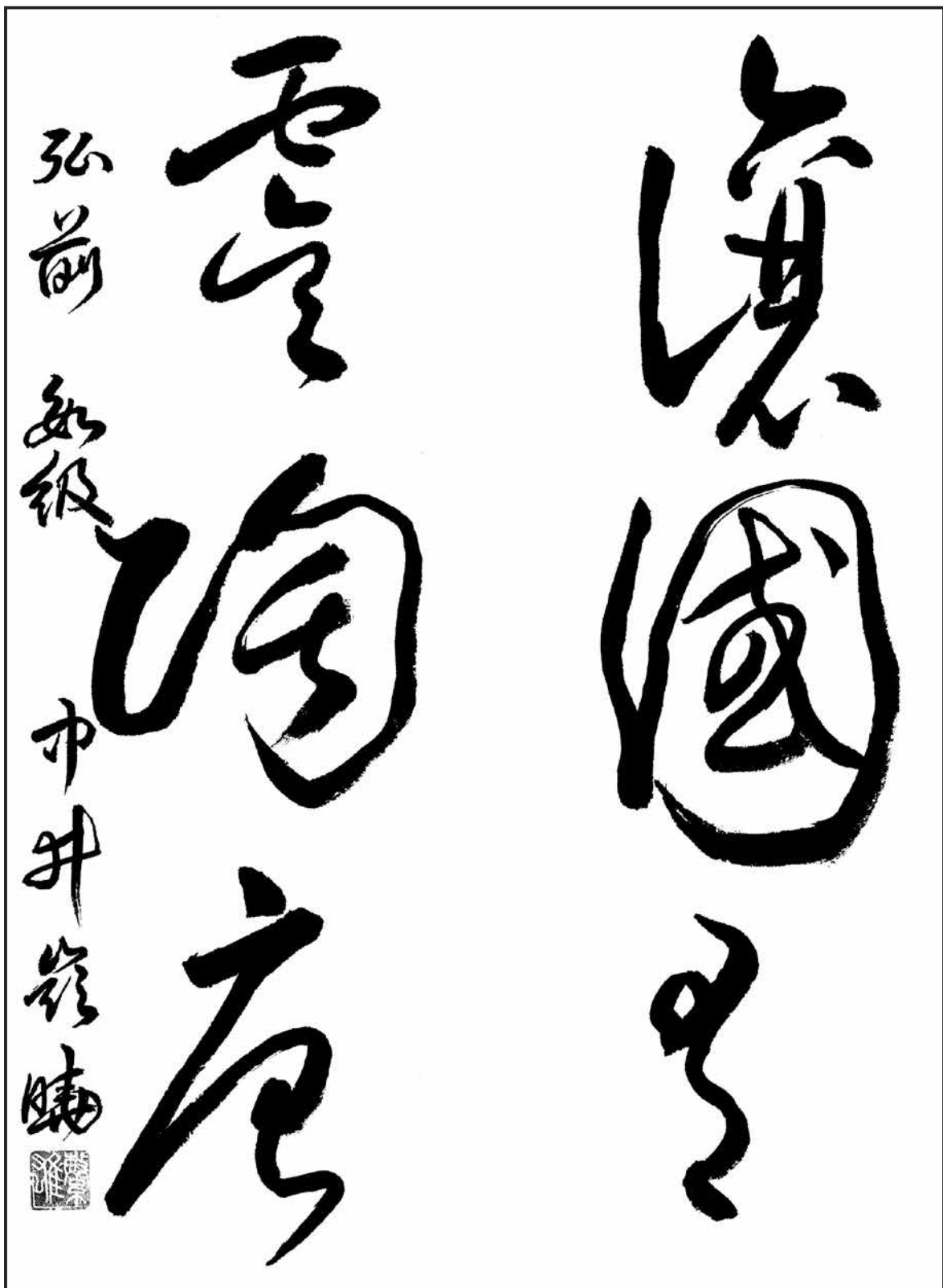
偏は重厚に、2画目は思い切って長く強調する。旁は縦長に、布をやや右へずらして最終画終筆は弱くならないようにする。



〔客日月明星稀〕 客曰く、月明らかに星稀に、

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く



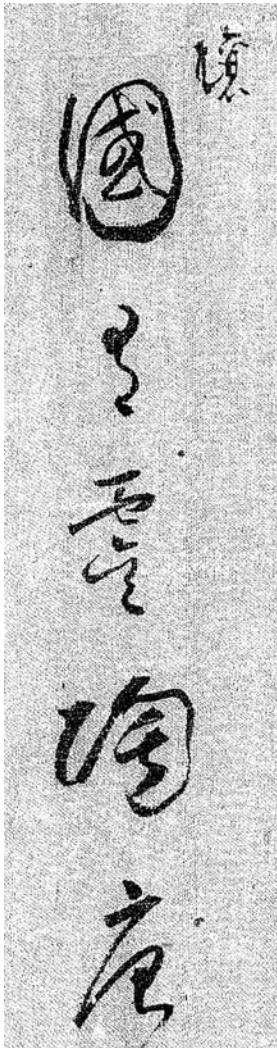
推奨筆(四海)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)

草書臨書課題解説

懐素 草書千字文



原帖



〔讓國有虞陶唐〕（位を推し）國を讓るは、有虞と陶唐なり。

〔讓〕 〔國〕 〔有〕 〔虞〕 〔陶〕 〔唐〕

偏はのびやかに、懷を広くとる。旁は縦長な造形になり、縦と横の部分の方向を変化させてリズムミカルに運筆する。国構えは筆圧を変化させながら動きを大きく、微妙な線の揺れを見逃さない。内部は白が潰れないように気を配る。位置に注意し、縦長で小さくまとめる。不安定にならないように、方向・余白等留意する。

上部長い横の部分は左へ大きく張り出し、右上がり強く。余白の広狭に留意し、細い線が弱くならないように配慮する。

偏は小さく上下をあけて、偏と旁の間を広くとる。偏は太めに、旁は主に細い線でゆったりと運筆する。

下部で広がる形になる。転折部分ではしっかりと方向を変え、バランスよくまとめる。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

弘前
都 土成

段

級

尉 西

對

馬

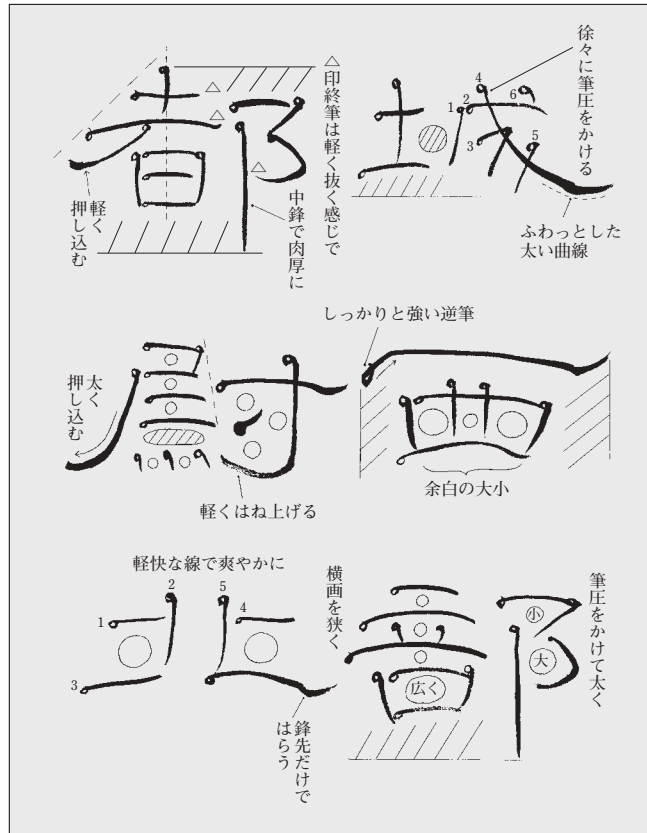
聖

峯



上 音部

推奨筆(四海)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



〔城〕 〔西〕 〔部〕 〔都〕 〔尉〕 〔北〕

偏は幅を狭く左上部に、旁は筆順に注意して（骨法参照）幅広に。旁の4画目以外は細身の線ですっきりと、4画目は主画なので徐々に筆圧をかけてのびやかに。

1画目は直線を意識し、2画目以降は曲線主体になる。1画目は逆筆で入筆し、当たった反動で右上に持ち上げて長く、下部の余白のとり方に留意。

音は横画を狭くして扁平に、下部に広い余白をとる。旁は筆圧をかけて重厚に。

者の上部横画の終筆（骨法△印）は筆を軽く抜く感じにし、日の位置に気を配る。旁の最終画終筆は中鋒で肉厚に、偏の下部と旁の上部をあける。

偏は下部で広がり余白のとり方に注意し、左の斜めの部分は太く押し込む。旁の最終画は中心部に打つ。

全体に軽快な線で爽やかに、左右のバランスを考慮して安定させる。最終画終筆は軽いタッチで鋒先だけではらう。

原帖



〔城西部都尉北〕（金）城西部都尉・北（地太守たり。）

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

◎19頁に部分解説があります。

推奨筆(天開)・使用紙(中字用半紙)・推奨墨(玉品)

弘前段級 三浦芳汀



國
黒
穀
酷
獄
骨
駒

國
黒
穀
酷
獄
骨
駒

國
黒
穀
酷
獄
骨
駒

楷・行・草の三体字典からとっています。

※弘前の部分には支部名を書く

※出品段級位(調和体部 新級～正師範)

◎19頁に部分解説があります。

推奨筆(からまつ)・使用紙(調和体用紙)・推奨墨(書芸真竹(固型))

建築中だった私どもの住まいが完成
 いたしまつたこのほど転居しました
 海沿いというところもあり窓から見える
 景色の良さは格別です

弘前 段級 三浦景秀



日本教育書道会

読み—建築中だった私どもの住まいが完成 いたしまつたこのほど転居しました
 海沿いということもあり窓から見える 景色の良さは格別です

(◎印墨つき)

※弘前の部分には支部名を書く

漢字条幅漢詩課題

A 漢字条幅部
※出品段級位(新級→正師範)

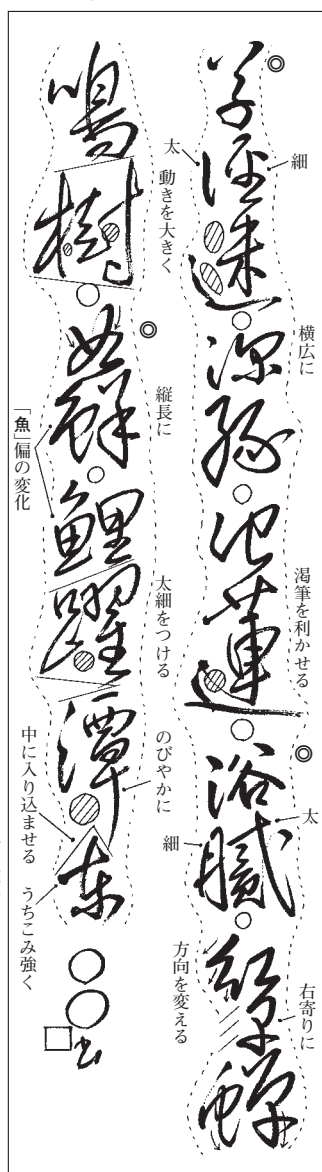
書は第一印象で良し悪しがわかんといひます。ぱつと見た瞬間の全体感がとても大切であることを裏付ける言葉です。良い作品は全体として千変万化の変化とまとまりをもち、しかもすっきりとした作品のことをいふようです。千変万化の内容は、基本的なことから高度な内容まで興行きの深いところがあるのですが、端的に言えば同じ繰り返しをしないということだと思います。

まずは文字を同じ大きさに書かない。行草体は楷書に比べてリズム感が違ってくるので、自然と文字に大小がつきます。突然大きくしたり小さくしたりするのはなく、ごく自然なのが理想とされています。自然に大小がつけば幅の変化もつく訳で、これを振幅と呼んでいます。変化に富んだ動きの場合、線が重なり動きがわかりにくい時もありますが、その

時は骨法を見て筆の動きを確認して書かれることをお勧めします。

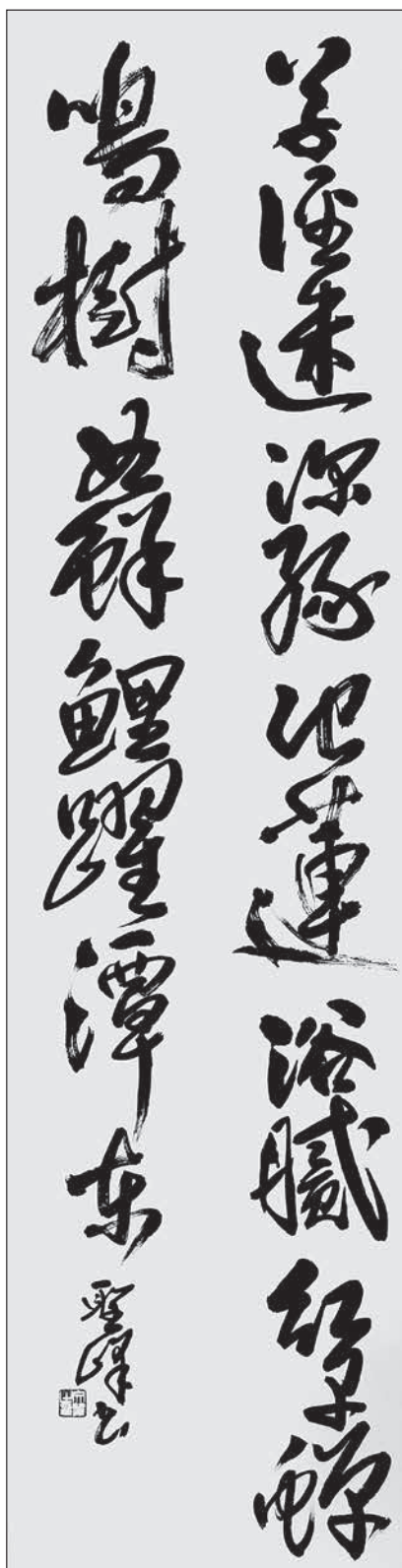
『このA課題を休まないで毎月出品されている方もおられることでしょう。だけど中々昇級しない、A評価が得られないと悩んでいる書友はいませんか？ そういう方はまず、紙面に対して文字の大きさが適切か考えて下さい。壁面に下げて離れた所から観てみましょう。『第三者の眼』で自分の作品を批評する眼力を養って下さい。』

(『内は對馬聖峰先生より』)



推奨筆(白神)・推奨紙(漢字条幅用紙半切・華心箋)・推奨墨(書云呉竹(固型))

對馬聖峰書



半切(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

〔草徑迷深緑 池蓮浴膩紅 早蟬鳴樹曲 鮮鯉躍潭東〕 宇文虚中 (◎印は墨つき)
読み―草徑深緑に迷い、池蓮膩紅を浴す。早蟬は樹曲に鳴き、鮮鯉は潭東に躍る。
意味―草の径は深い緑にかくれ、池の蓮はつややかな紅を浴びたよう。早い蟬は曲った木に鳴き、元気な鯉は潭の東に跳ねる。

注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

漢字条幅臨書課題

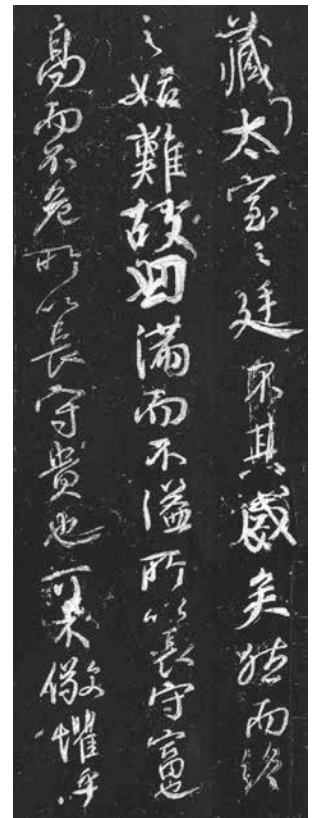
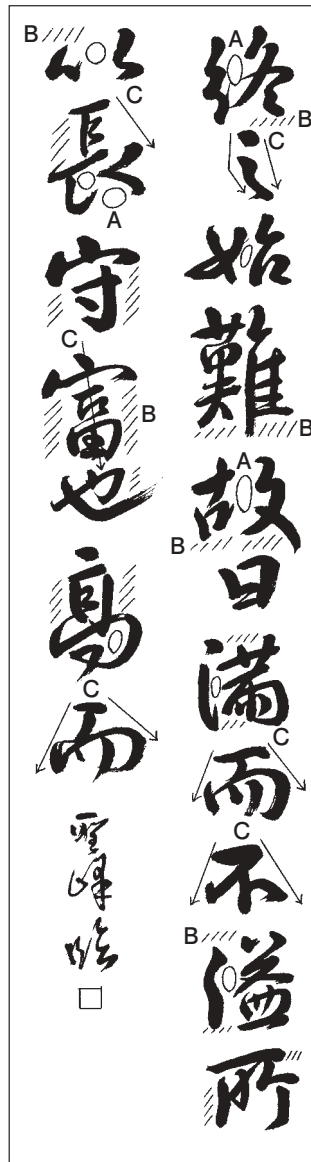
B

漢字条幅部
※出品段級位(新級)正師範)

◆顔真卿(ぞんしんけい) (争坐位文稿)

Aの○は余白の印。偏と旁の間の余白や、一字の中の余白を表す。余白が生まれることによって、ゆとりや開放感が創出される。「黒」の線により生きた「白」が生ずる。

Bの///は上下を揃えないことや、文字本来の形から表れる余白。ウ冠の守・富の///がそれ。Cの矢印は概形の方角を示している。



對馬聖峰臨

終始難故曰滿而不溢所以長守富也

〔終〕之始難 故曰 滿而不溢 所以長守富也 高而 (○印は墨つぎ)

読み—之を終うること始めて難し。故に曰く、満ちて溢れざるは、長く富を守る所以なり。高くして……。
意味—終始一貫することは難しいものです。だから「孝経」には、「満ちてもあふれないようにすることが、長く富を守るゆえんであり、高処にのぼっても……」。

推奨筆(神技北斗)・推奨紙(漢字条幅用紙半切)・梅花箋・推奨墨(書芸真竹(固型))

揮毫動画を
配信しています



注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。
なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

半切(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本
500円で販売しております。

創作コーナー

4月号漢字条幅創作課題

物外山川近 晴初景霽新 芳郊花柳遍 何處不宜春

私の創作作品

菅野華翠

物外山川近晴初景霽新芳郊
花柳遍何處不宜春

4月号創作概評

今月は、割合レベルの高い作品が多かったです。ただ残念なことに、成績下位の方たちは、なかなか作品づくりに苦労しているように見受けられます。形をあれこれ考える前に、まずは全体構成をつかむことを第一義と考えてください。(對馬 聖峰 評)

4月号創作出品者

※成績順に掲載します。(○印は写真版)

○阿部 悟雲	小山内寛仙	高橋 溪峻	藤田 菖湖	中村 紫鳳
○中井 厳翔	落合堂陽明	三浦 桜風	高橋 宏三	佐藤 柚彩
○伊藤 照峰	志垣 陽澤	橋本 隆峰	中川 麗佳	
小林 玲霞	柳谷 玄海	三浦 麗煌	齊藤 城月	

7月号 漢字条幅創作課題

出品資格「漢字部門初段以上」
作品締切日：7月25日必着

燕低去地不盈尺 鵲喜傍檐時數聲

読み―燕は低く地を去ること尺に盈たず、鵲は喜び檐に傍い時に数声。
意味―燕は地面より一尺も離れず低く飛び、鵲は喜びをもちたらずのか檐にそって時に一声三声鳴く。(陸游)

創作出品規定

作品左下に台帳番号・段位・姓号を記入。例月作品とは別送し「創作コーナー」係まで。作品返送希望者は、返送用封筒に住所・氏名を書き、切手を貼って同封下さい。

4月号 創作優秀作品

阿部 悟雲：過度な誇張もなく、見えていて大変安心感のある秀作。

物外山川近晴初景霽新芳
郊花柳遍何處不宜春

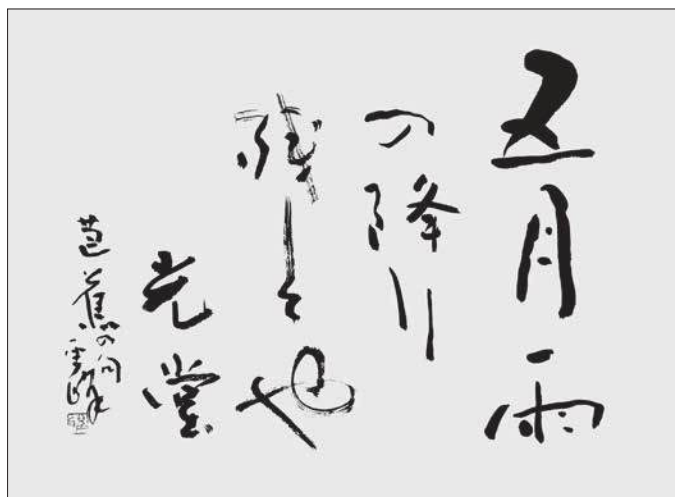
中井 厳翔：スムーズな行の流れで落ち着いている。2行目もう少し潤渇がほしい。

物外山川近晴初景霽新芳
郊花柳遍何處不宜春

伊藤 照峰：切れ味の鋭い線が良い。山場の盛り上げ不足と脱字(處)に注意。

物外山川近晴初景霽新芳
郊花柳遍何處不宜春

書作品を書こう



半紙(24×33cm)

五月雨の降り残してや光堂

(松尾芭蕉)

松尾芭蕉(1644

〜1694)が「おく

の細道」(1689〜1

691の10月末)の旅

での句。光堂は平泉中

尊寺の金色堂のこと。

句の意は、この寺の建

てられて以来、500

年にわたって年々降り

続けてきた五月雨も、

ここだけは降り残した

であろうか、今、五月

雨煙る空のもので、光

堂は燦然と輝き、かつ

ての栄光をしのばせて

いることだ。とあります。

芭蕉の東北での旅程

は、福島の上河の関↓

飯坂↓宮城の多賀城↓

松島↓岩手の平泉↓山

形の尾花沢↓立石寺↓

新庄↓出羽三山↓鶴岡

↓酒田↓秋田の象潟。

大まかにはこの地を歩

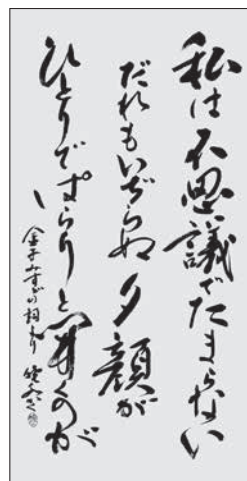
き、各所の地名の入っ

た句を多数残していま

す。

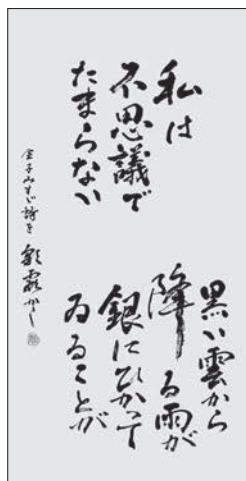
3月号 優秀作品

関口曉水(半切1/2)



◎書線が生きている。とにかく大胆さがたまらない。魅力あふれる優秀作。

小池彩霞(半切1/2)



◎粘っこい羊毛筆の線が用紙に沈潜し、どっしりとした作品。落款の位置もよい。

出品者 (順不同)

高村阿柳
橋田部谷
宏秋晶玄
三晴逕海
.....
佐橋伊高
藤本藤橋
柚隆照虹
彩峰峰風

出品規定

1. 締切 令和8年8月10日(7月号例月作品に同送可。その場合、別封筒に入れて「書作品を書こう」と書いて同送のこと。)
 2. 発表 令和8年11月号
 3. 規定用紙 半紙(24×33cm) 調和体(1人1点30コ)
 4. 優秀作品2点を紙上にて発表(批評コメントつき)その他は姓号のみ発表
 5. 段級位に関係なく誰でも出品可
 6. 返送不可
- ※出品は掲載している同作品または、当月規定用紙であれば自由作品も可。ただし、参考作品が漢字の時は漢字作品を、調和体の時は調和体作品を出品して下さい。

※作品左下に姓号を鉛筆で記入して下さい。タテ・ヨコを間違わないように。

7月号		ペン楷書課題（ペン部）				三浦景秀書	
支部名	学年	サマセット・モーム	よいことだ	魂のために	二つずつ行うのは	自分の嫌いなことを	毎日
段級位	初めての人は新と書く						
氏名							

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価660円

（万年筆プレピー・硬筆用紙6行使用）

7月号		ペン行書課題（ペン部）				三浦景秀書	
支部名	学年	サマセット・モーム	よいことだ	魂のために	二つずつ行うのは	自分の嫌いなことを	毎日
段級位	初めての人は新と書く						
氏名							

※サマセット・モーム（1874～1965）：イギリスの小説家・劇作家。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価660円

（万年筆プレピー・硬筆用紙6行使用）

7月号		ペン手紙課題（ペン部）				三浦景秀書	
支部名		建築中でした私どもの住まいが完成 いたしましてこのほど転居しました 海沿いということもあり窓から見える 景色の良さは格別です いたしまへるほど転居しました 海沿いというところもあり窓から見える 景色の良さは格別です					
段級位	初めての人は新と書く						
氏名							

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価660円

建築中でした私どもの住まいが完成 いたしましてこのほど転居しました
海沿いということもあり窓から見える 景色の良さは格別です

（万年筆プレピー・硬筆用紙8行使用）

ペン部課題解説

楷書課題

方向と長さに留意

行

旁は下部で広がる

嫌

等間隔に

自

方向に注意

中心

長く

毎

ムの位置に注意

魂

仰
伏

上

のびやかに

分

組み方に注意

田

行書課題

偏と旁の間を広く

行

横方向の変化

嫌

柔らかく

自

長く

中心

余白の広狭

毎

縦長に

田

続ける気持ちで

分

上

左下に長く

魂

手紙課題

中心より右に

中心

長く

なめらかに続ける

字間に注意

建 築 中 心 大

次第に広がる

続ける気持ちで

徳 小 川 家 成

リズムカルに 同一文字の変化

左側を長く

転 居 大

文字に大小等の変化をつける

あ だ ん じ ゃ ん 大 中 小 横 広 縦 長

右寄りに

行に振幅をつける

あ だ ん じ ゃ ん 大 中 小